



杉並区・名寄市交流協定について

杉並区と風連町は、平成元年七月十三日に交流協定を締結した。

以来、両自治体は長きにわたり、住民交流を中心とした友好と親善を深めてきた。

そうした中、風連町において、杉並区との交流協定を新市に引き継ぐことを含んだ合併協議が名寄市との間で進み、平成十八年三月二十七日に両市町が合併して、新名寄市が誕生した。

杉並区と名寄市は、これまでの経緯を踏まえて交流都市関係を引き継ぎ、更なる友好関係を築くため、交流協定を交換する。

交 流 協 定

区民が創るみどりの都市をめざす杉並区と、自然の恵みが人と地域を育み市民みんなで創る心豊かな北の都をめざす名寄市は、互いの歴史と文化を尊重し、これを基盤として、住民相互の理解を深め、友情の絆を育むことを誓う。

杉並区と名寄市は、両自治体及び住民相互の自主性を尊重し、教育・文化・経済などの交流、災害時の協力を実施する。

我々は、この交流を通じお互いの繁栄と発展をもたらすように努力することを約し、この協定を締結する。

平成十八年六月六日

杉並区長

山田 宏

名寄市長

島 多慶志